

木くぼり

樹木の不思議 42

No. 76 発行 '09-4月

株式会社 ナガイ内

住まい教室 金谷教室

常緑のサクラ

サクラといえばたいはいの人はヤマザクラやソメイヨシノを思い浮かべるのではないのでしょうか。日本のサクラの解説書の多くは、そうしたいわゆる“さくら”の品種をきれいな写真つきで紹介しています。しかし、これらはサクラの仲間の一部にすぎません。サクラの仲間は、バラ科サクラ属に分類され、私たちが慣れ親しんでいる“さくら”は、サクラ亜属に当たります。この他にスモモ属、アンズ属、モモ属、ウワミズザクラ属、バクチノキ亜属の五亜属があります。

スモモ、ブルー、モモ、アーモンド、ウメ、アンズ、ウワミズザクラ、イヌザクラなどがサクラ属の植物ということになります。これらの種はみな落葉性の植物で全て冬に葉を落とします。



バクチノキ ↑

Prunus africana ↑

ところがサクラ属のなかには冬でも葉を落とさない常緑性のサクラがあります。この常緑のサクラの仲間はバクチノキ亜属に分類されています。

日本の常緑のサクラの仲間にはバクチノキとリンボクの二種があります。バクチノキという呼称の由来は、樹皮がばらばらと脱落して赤い木肌が露出するので、これを博打に負けて身ぐるみ剥がされた様子に例えたものだといわれています。日本には前記のたった二種しかありませんが、世界を見渡すとバクチノキ亜属は熱帯を中心にかかなりの種が分布しています。熱帯地域の研究は十分に進んでいないので、いったいこの仲間は何種あるのかすら解明されていませんが、なかにはエチオピアに生息する *Prunus africana* のように盤根が発達し、高さ 30メートルに達するという種もあります。

参考資料：森の木の 100 不思議・インターネット他

子育て中の方が「頭のよい子が育つ家」があると聞いたら興味を湧きませんか？日本住宅新聞に次のような記事が掲載されていました。

埼玉県熊谷市の総合住宅展示場に【頭の良くなる家】のモデルハウスがあるそうです。

書籍「頭のよい子が育つ家」の著者 四十万靖氏が、慶応義塾大学等の協力を得て、首都圏の有名中学校等に合格した子供の家の間取り等を調査した結果、ある特徴が浮かび上がりました。それは、勉強ができる子どもは個室を与えられておらず、家族と一緒に過ごすことが多いということです。これを踏まえ、このモデルハウスは、「親子のコミュニケーションを育む家」をテーマに設計されたそうです。その特徴は…

- ① 居住部を左右にまとめて真中を吹抜空間が通っていること。
- ② その空間を挟んでどの部屋からでも、家族が居るのを感じられること。
- ③ ダイニングやリビングで家族団らんができるようにしてあること。

子供をだんらんの場にひきだすような仕掛けもあります。子供部屋の天井を屋根形状に沿って低くし、居心地の悪い空間にしてあります。もちろん隣に勉強コーナーがあるので座って勉強してもよいつくりになっています。トイレには原則として本棚を設置されています。空間の居心地良さや空気環境の良さも手伝ってか、見学に来ている家族連れがいつまでも帰らずにくつろいでいる姿もみられるそうです。

どうですか？このような家で本当に【頭のよい子が育つ家】になるのでしょうか？HSGでは、家族の将来の事を考えて間取り計画を考えています。子供はいつまでも子供ではありません。数年の内にやがて大人になり巣立っていくケースも有ると思います。物事には表もあれば裏もあり、メリット・デメリット双方を比較検討する必要が重要では！詳しくは「ホームー住まい教室」に来て一緒に考えてみましょう。

一切の強制・強要はありません。お気軽においでくださいませ。

ホームページ <http://www.e-house.co.jp/nagai/>

e-mail kk-nagai@po2.across.or.jp (メールでの予約もOK!です。)

室内用物干しの紹介

スギ花粉が舞っているこの季節や、雨が続いた日など洗濯物を外に干せなくて困ってしまいますね。

この、室内用物干しは、優れたものですよ！ 使用しない時は簡単に収納できます。



天井に収納、邪魔になりません！



(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501